

A

27

北山村じゃばら生産協同組合

じゃばらブランドを確立し、村（地域）の経済を守り抜く

住 所	〒647-1603 和歌山県東牟婁郡北山村大字大沼87番地		
電話番号	0735-49-2253	URL	—
設 立	平成25年1月	出資金	105千円
主な業種	果樹耕作農業	組合員	21人

■背景と目的

当初、販売に大変苦労したじゃばらが『花粉症に効く』と評判となったことで爆発的に売上が伸び、村民の経済を支える重要な事業に成長していく過程で、「じゃばら振興会」を母体として協同組合を設立した。今後は組合事業を通じて、じゃばらブランドを守り抜いていく。

■事業・活動の内容と手法

事業の推進は、常に北山村と二人三脚で協調して進めてきた。村役場の担当者、関係者が組合の役員、組合員と随時会議を開いて協議し、情報を共有しながら組合事業が運営されてきた。組合で生産されたじゃばらは北山村に買い取ってもらい、北山村を通じて商品化され、販売されている。村が一括して販売、物流、営業の管理を担ってくれているため、組合員も安心してじゃばら栽培に勤しむことができている。

■成果

当初、まったく売れなかった時期は、村の存亡を賭けた事業だっただけに停滞感が漂っていたが、平成13年1月出店の楽天市場で爆発的なヒットをきっかけとして、早急な生産体制増強とともに、じゃばらにまつわる権利取得によって他の生産者との差別化を図っていく必要性に迫られた。こうした変化にもスムーズに対応できたのは、組合員である村民の一体感と、村による十分なバックアップ体制の賜物であると言える。



▲じゃばらを使って開発した商品



▲じゃばら栽培

事業・活動推進のキーファクター

組合員である北山村村民の強い共生・連帯意識と、組合事業を全面的に支援し、バックアップしてくれる村の協力が成果獲得の要因と言える。